



# HX Data Platform インターフェイスへのログイン

- [HyperFlex クラスタ インターフェイスの概要](#) (1 ページ)
- [HX Connect へのログイン](#) (8 ページ)
- [コントローラ VM \(stcli\) コマンドラインへのログイン](#) (10 ページ)
- [Cisco HX データ プラットフォーム インストーラの導入](#) (12 ページ)
- [HX Data Platform REST API へのアクセス](#) (13 ページ)
- [Cisco HX Data Platform プラグインへのアクセス](#) (14 ページ)
- [Cisco TAC への連絡](#) (15 ページ)

## HyperFlex クラスタ インターフェイスの概要

HyperFlex の各インターフェイスは、HX Storage Cluster についての情報とアクションを実行するための手段へのアクセスを提供します。HX Storage Cluster インターフェイスには次のものがあります。

- **HX Connect**—モニタリング、パフォーマンスチャート、およびアップグレード、暗号化、複製、データストア、ノード、ディスク、VM readyclones のタスク。
- **HX Data Platform Plug-in**—モニタリング、パフォーマンスチャート、データストア、ホスト (ノード)、ディスクのタスク。
- **ストレージコントローラ VM コマンドライン**—HX Data Platform stcli コマンドの実行。
- **HyperFlex Systems RESTful API**—認証、複製、暗号化、モニタリング、およびオンデマンドステートレスプロトコルを介しての HyperFlex Systems の管理の有効化。

追加のインターフェイスには次のものが含まれます。

- **Cisco HX Data Platform インストーラ**—HX Data Platform のインストール、HX Storage Cluster クラスタの展開および拡張、ストレッチクラスタの展開、HYPER-V クラスタの展開。
- **Cisco UCS Manager**—HX Storage Cluster のネットワーク、ストレージとストレージアクセス、およびリソースの管理のタスク。

- VMware vSphere Web Clientおよび vSphere クライアント：vCenter クラスタのすべての VMware ESXi サーバの管理。
- VMware ESXi —ホスト コマンド ラインを提供する個々の ESXi ホストの管理。

## HX Data Platform ログインクレデンシヤルに関するガイドライン

stcli コマンドは、ログインクレデンシヤルを要求します。

定義済みユーザ admin および root のストレージコントローラ VM のパスワードは、HX Data Platform インストーラの実行時に指定します。インストール後は、stcli コマンドラインを使用してパスワードを変更できます。

コンポーネント	権限レベル	[Username]	[Password]	注意
HX Data Platform OVA	root	root	Cisco123	重要 システムは、デフォルトのパスワード [Cisco123] で出荷されますので、インストール中にこれを変更する必要があります。新しいユーザがパスワードを指定しない限り、インストールを続行できません。

コンポーネント	権限レベル	[Username]	[Password]	注意
HX Data Platform インストーラVM	root	root	Cisco123  重要 システムは、デフォルトのパスワード [Cisco123] で出荷されますので、インストール中にこれを変更する必要があります。新しいユーザがパスワードを指定していない限り、インストールを続行できません。	
HX Connect	管理者または読み取り専用	vCenter から定義されたユーザ。	vCenter から定義されたユーザ。	
		定義済みの admin または root ユーザ。	HX のインストール中に指定されます。	ログインの場合は、local/ を先頭に付ける必要があります。つまり、local/admin または local/root になります。

コンポーネント	権限レベル	[Username]	[Password]	注意
HX ストレージ コントローラ VM	root	HX のインストール中に定義されたユーザ。 vCenter から定義されたユーザ。 定義済みの admin または root ユーザ。	HX のインストール中に指定されます。 強力なパスワードが必要です。	ストレージクラスタ内のすべてのノードで一致する必要があります。 インストール後、パスワードを変更するときは <code>stcli</code> コマンドを使用します。
vCenter	admin	administrator@vsphere.local デフォルト。 SSO 有効。 設定に依存します。 MYDOMAIN\name または name@mydomain.com。	SSO 有効。 設定に依存します。	ESX サーバがバージョン 5.5 の場合は、vCenter クレデンシャルが vSphere 5.5 の要件を満たしていることを確認してください。 読み取り専用ユーザには HX Data Platform Plug-in へのアクセス権はありません。
ESXi サーバ	root	SSO 有効。 設定に依存します。	SSO 有効。 設定に依存します。	ストレージクラスタ内のすべての ESX サーバで一致する必要があります。
ハイパーバイザ	root	root	HX のインストール中に指定されます。	HX のインストール後にパスワードを変更するときは、vCenter または <code>esxcli</code> コマンドを使用します。
UCS Manager	admin	設定に依存します。	設定に依存します。	
ファブリック インターコネクト	admin	設定に依存します。	設定に依存します。	

## HX Data Platform の名前、パスワード、文字

印刷可能な ASCII 文字と拡張 ASCII 文字のほとんどを名前とパスワードに使用することができます。HX Data Platform のユーザ名、パスワード、仮想マシン名、ストレージコントローラ VM 名、およびデータストア名に使用できない文字があります。フォルダとリソースプールには文字の例外はありません。

ただし、名前とパスワードを簡素化するために、特別な目的に使用されることの多い以下の特殊文字の使用を避けるようにしてください。

アンパサンド (&)、アポストロフィ (')、アスタリスク (\*)、アットマーク (@)、バックスラッシュ (\)、コロン (:)、カンマ (,)、ドル記号 (\$)、感嘆符 (!)、スラッシュ (/)、小なり記号 (<)、大なり記号 (>)、パーセント (%)、パイプ (|)、シャープ (#)、疑問符 (?)、セミコロン (;)

特殊文字を入力するときは、使用しているシェルを考慮してください。シェルごとに、大文字小文字を区別するかどうか異なります。名前またはパスワードに特殊文字がある場合は、引用符で囲んでください (例: 'speci@lword!')。

### HX ストレージクラスタ名

HX クラスタ名は 50 文字以内です。

### HX ストレージクラスタ ホスト名

HX クラスタ ホスト名は 15 文字以内です。

### 仮想マシンとデータストア名

仮想マシン名、コントローラ VM 名、またはデータストア名を構成する文字のほとんどが許容されます。エスケープされた文字は、仮想マシン名、コントローラ VM 名、またはデータストア名として許容されます。

**最大文字数:** 仮想マシン名には 15 文字まで使用できます。

**除外される文字:** スナップショットを有効にするユーザ仮想マシン名またはデータストア名に次の文字を使用しないでください。

- アクセント (´)

**特殊文字:** ユーザの仮想マシン、またはデータストア名に使用できる特殊文字は次のとおりです。

- アンパサンド (&)、アポストロフィ (')、アスタリスク (\*)、アットマーク (@)、バックスラッシュ (\)、サーカムフレックス (^)、コロン (:)、カンマ (,)、ドル記号 (\$)、ドット (.)、二重引用符 (")、等号 (=)、感嘆符 (!)、スラッシュ (/)、ハイフン (-)、左波カッコ ({)、左丸カッコ (())、左角カッコ ([)、小なり記号 (<)、大なり記号 (>)、パーセント (%)、パイプ (|)、プラス記号 (+)、シャープ (#)、疑問符 (?)、右波カッコ (})、右丸カッコ ())、右角カッコ (])、セミコロン (;)、ティルダ (~)、アンダースコア (\_)

### ユーザ名の要件

HX Data Platform コンポーネントに固有なユーザ名を使用できますが、UCS Manager ユーザ名要件を満たす必要があります。

UCS Manager ユーザ名の要件。

- 文字数：6～32文字
- Cisco UCS Manager 内で一意にする必要があります。
- 先頭を英字にする必要があります。
- 必須要素：英字（大文字または小文字）。
- 使用可能要素：数字。すべて数字にすることはできません。
- 許可される唯一の特殊文字：アンダースコア（\_）、ダッシュ（-）、ドット（.）。

### コントローラ VM のパスワードの要件

コントローラ VM の root および admin ユーザのパスワードには、次のルールが適用されます。



(注) パスワードに関する一般的な規則：コマンド文字列にパスワードを含めないでください。コマンドは、パスワードの入力を求めることができる状態にします。

- 最小長：10
- 1つ以上の大文字
- 1つ以上の小文字
- 1つ以上の数字
- 1つ以上の特殊文字
- 新しいパスワードの設定を試せる回数は最大3回

コントローラ VM のパスワードを変更するには、必ず `stcli` コマンドを使用します。Unix パスワード コマンドなどの他のパスワード変更コマンドを使用しないでください。

1. 管理コントローラ VM にログインします。
2. `stcli` コマンドを実行します。

**`stcli security password set [-h] [--user USER]`**

変更は、HX クラスタ内のすべてのコントローラ VM に伝達されます。

### UCS Manager と ESX のパスワードの形式と文字の要件

以下の項では、UCS Manager と VMware ESXi のパスワードの形式と文字の要件について簡単にまとめています。詳細については Cisco UCS Manager と VMware ESXi のマニュアルを参照してください。

- **文字クラス**：小文字、大文字、数字、特殊文字。  
パスワードは大文字と小文字が区別されます。

- **文字の長さ** : 最小 6、最大 80

4 つすべての文字クラスの文字を含む場合は、6 文字以上が必要です。

3 つ以上の文字クラスの文字を含む場合は、7 文字以上が必要です。

1 つまたは 2 つの文字クラスの文字しか含まない場合は、8 文字以上が必要です。

- **開始文字と終了文字** : パスワードの先頭の大文字またはパスワードの末尾の数字は文字数の合計に含まれません。

パスワードが大文字で始まる場合、2 つの大文字が必要です。パスワードが数字で終わる場合、2 桁の数字が必要です。

要件を満たしている例 :

h#56Nu (6 文字) 。 4 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。

h5xj7Nu (7 文字) 。 3 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。

XhUwPcNu (8 文字) 。 2 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。

Xh#5\*Nu (6 文字としてカウント) 。 4 つの文字クラス。大文字で始まっています。数字で終わっていません。

h#5\*Nu9 (6 文字としてカウント) 。 4 つの文字クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっています。

- **連続文字** : 最大 2。たとえば、hhh###555 は許容されません。

vSphere SSO ポリシーを介して、この値を設定できます。

- **除外される文字** :

UCS Manager のパスワードにエスケープ (\) 文字を含めることはできません。

ESX パスワードにこれらの文字を含めることはできません。

- ユーザ名やユーザ名を逆にしたものは使用できません。

- デクショナリに存在する単語を含めることはできません。

- エスケープ文字 (\) 、ドル記号 (\$) 、疑問符 (?) 、等号 (=) を含めることはできません。

- **辞書に載っている単語**:

辞書で使用されている単語は使用しないでください。

### vSphere 5.5 のパスワードの例外

一部の文字は、vSphere 内の機能で処理されるときにエスケープされます。つまり、処理機能によって、特殊文字の前にエスケープ文字が付加されてから、指定された名前が処理されます。

許可される特殊文字は vSphere バージョン 5.5 または 6.0 以降に固有です。 [https://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en\\_US&cmd=displayKC&externalId=2060746](https://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en_US&cmd=displayKC&externalId=2060746) で、VMware KB の記事『*Installing vCenter Single Sign-On 5.5 fails if the password for administrator@vsphere.local contains certain special character (2060746)*』を参照してください。

除外される文字：vSphere 5.5 では次の文字を使用しないでください。

- 非 ASCII 文字。拡張 ASCII 文字。
- アクセント付きの文字。たとえば、アクセント、鋭アクセント、サーカムフレクス、ウムラウト、ティルダ、およびセディーユ (é, à, â, å, ø, ü, ö, œ, ç, æ) があります。
- vSphere 5.5 と SSO：アンパサンド (&)、アポストロフィ (')、バックスラッシュ (\)、サーカムフレクス (^)、二重引用符 (")、感嘆符 (!)、パーセント (%)、セミコロン (;)、スペース ( )

VMware には、vSphere SSO パスワードポリシー設定オプションとユーザ名のアップグレードに関する検討事項があります。VMware のマニュアルで、「*How vCenter Single Sign-On Affects Upgrades*」と「*Edit the vCenter Single Sign-On Password Policy*」のトピックを参照してください。

- ロケーションベースの例外：名前の先頭に、アットマーク (@) と丸カッコ (()) を使用しないでください。

## HX Connect へのログイン

Cisco HyperFlex Connect は、HX Storage Cluster モニタリングへの HTML5 ベースのアクセス、およびレプリケーション、暗号化、データストア、および仮想マシンのタスクを可能にします。

### セッションの概要

HX Connect へのログインはそれぞれセッションです。セッションは、HX Connect にログインした時からログアウトする時までの間のアクティビティの期間です。セッション中にブラウザの Cookie を手動でオフにしないでください。それにより、セッションもドロップされるためです。ドロップした場合でも、セッションを閉じるためにブラウザを閉じないでください。そのセッションは、引き続きオープンなセッションとしてカウントされます。デフォルトのセッションの最大数には、次が含まれます。

- ユーザごとに 256 の同時セッション
- HX Storage Cluster 全体で 300 の同時セッション

## 始める前に



### 重要

- 読み取り専用ユーザの場合は、ヘルプに記載されているすべてのオプションが表示されないことがあります。HX Connect では、ほとんどのアクションの実行に管理者特権が必要です。
- vCenter 上の時間とコントローラ VM 上の時間が同期またはほぼ同期していることを確認します。vCenter の時間とクラスタの時間に開きがありすぎる場合は、AAA 認証が失敗します。

**ステップ 1** HX Storage Cluster 管理 IP アドレスを見つけます。

個々のストレージコントローラ VM ではなく、管理 IP アドレスの完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用します。

**ステップ 2** ブラウザに HX Storage Cluster の管理 IP アドレスを入力します。

**ステップ 3** HX Storage Cluster のログイン クレデンシャルを入力します。

- **RBAC ユーザ** : Cisco HyperFlex Connect は、次のロールに基づくアクセス制御 (RBAC) ログインをサポートします。
  - **管理者** : 管理者ロールを持つユーザには、読み取りおよび変更操作の権限があります。これらのユーザは、HX Storage Cluster を変更できます
  - **読み取り専用** : 読み取り専用ロールを持つユーザには、読み取り (表示) 権限があります。HX Storage Cluster を変更することはできません。

これらのユーザは、vCenter を介して作成されます。vCenter ユーザ名の形式は、<name>@domain.local です。例 : administrator@vsphere.local。

- **HX 事前定義ユーザ** : HX Data Platform の事前定義ユーザである admin または root を使用してログインするには、local/ プレフィックスを入力します。例 : local/root または local/admin。

local/ ログインで実行したアクションは、ローカルクラスタにのみ影響します。

vCenter は HX Connect を使用してセッションを認識します。このため vCenter で発生するシステムメッセージには、local/root ではなくセッションのユーザが表示される可能性があります。たとえば、アラームで Acknowledged By might list com.springpath.sysmgmt.domain-c7 と表示される可能性があります。

目のアイコンをクリックすると、パスワードフィールドのテキストが表示または非表示となります。このアイコンは、他のフィールド要素によって見えにくくなる場合があります。それでも、目のアイコンの領域をクリックすると、切り替え機能は動作します。

### 次のタスク

- HX Connect に表示される内容を更新するには、更新（円形）アイコンをクリックします。これによってページが更新されない場合は、キャッシュをクリアして、ブラウザをリロードします。
- HX Connect からログアウトして、適切にセッションを閉じるには、[User] メニュー（右上）> [Logout] を選択します。

## コントローラ VM (stcli) コマンドラインへのログイン

すべての stcli コマンドは、HX Cluster 情報を読み取るコマンドと HX Cluster を変更するコマンドに分かれています。

- 変更のコマンド：管理者レベルの権限が必要です。例：

```
stcli cluster create
stcli datastore create
```

- 読み取りのコマンド：管理者レベルまたは読み取り専用レベルの権限で使用できます。例：

```
stcli <cmd> -help
stcli cluster info
stcli datastore info
```

stcli コマンドを実行するには、HX データプラットフォームストレージコントローラ VM コマンドラインにログインします。



**重要** コマンド文字列にパスワードを含めないでください。コマンドは、プレーンテキストとしてログに頻繁に渡されます。コマンドからパスワードの入力を求められるまで待ちます。これは、ログイン コマンドだけでなく stcli コマンドにも当てはまります。

以下の方法で、ストレージコントローラ VM の HX Data Platform コマンドラインインターフェイスにログインできます。

- ブラウザから
- コマンドターミナルから
- HX Connect Web CLI ページから

HX Connect では直接コマンドのみサポートされます。

- 直接コマンド：1回のパスで完了し、コマンドラインを介した応答を必要としないコマンド。直接コマンドの例：stcli cluster info

- 間接コマンド：コマンドラインを介したライブ応答を必要とするマルチレイヤのコマンド。対話型コマンドの例：stcli cluster reregister

**ステップ 1** コントローラ VM の DNS 名を探します。

1. [VM] > [Summary] > [DNS Name] を選択します。
2. [ホーム] > [VM およびテンプレート] > [vCenter サーバ] > [datacenter] > [ESX Agents] > [VVM] を選択します。
3. コントローラ VM のストレージクラスタリストにクリック スルーします。

**ステップ 2** ブラウザから、DNS 名と /cli パスを入力します。

- a) パスを入力します。

例

```
# cs002-stctlvm-a.eng.storvisor.com/cli
```

想定されるユーザ名：admin、パスワード：HX Clusterの作成時に定義。

- b) プロンプトにパスワードを入力します。

**ステップ 3** コマンドラインターミナルから ssh を使用します。

(注) ssh ログイン文字列にパスワードを含めないでください。ログインは、プレーンテキストとしてログに渡されます。

- a) ssh コマンド文字列を入力します。

例

- すべてのコントローラ VM の事前定義済みユーザ。

```
# ssh admin@<ipaddress_controllervm>
```

- vCenter を介して作成された RBAC ユーザ。vCenter ユーザ名の形式は、<name>@domain.local です。例：administrator@vsphere.local

```
# ssh vc-<username>@<ipaddress_controllervm>
```

```
# ssh vc-administrator@vsphere.local@<ipaddress_controllervm>
```

- b) 証明書の警告が表示される場合があります。yes と入力して警告を無視して続行します。

```
-----
!!! ALERT !!!
This service is restricted to authorized users only.
All activities on this system are logged. Unauthorized
access will be reported.
-----
HyperFlex StorageController 2.5(1a)# exit
logout
Connection to 10.198.3.22 closed.]$ssh root@10.198.3.24
The authenticity of host '10.198.3.24 (10.198.3.24)' can't be established.
```

## ■ ストレージコントローラパスワードの変更

```
ECDSA key fingerprint is xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx.
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)?
```

c) プロンプトにパスワードを入力します。

```
# ssh admin@10.198.3.22
HyperFlex StorageController 2.5(1a)
admin@10.198.3.22's password:
```

ステップ4 HX Connect から HX Connect にログインし [Web CLI] を選択します。

(注) HX Connect Web CLI からは非対話型のコマンドのみを実行できます。

## ストレージコントローラパスワードの変更

インストール後にHyperFlexストレージコントローラのパスワードをリセットするには、次の手順を実行します。

ステップ1 ストレージコントローラ VM にログインします。

ステップ2 HyperFlex ストレージコントローラのパスワードを変更します。

```
# stcli security password set
```

このコマンドによって、変更がストレージクラスタ内のすべてのコントローラ VM に適用されます。

(注) Unix のパスワード コマンドは使用しないでください。

ステップ3 新しいパスワードを入力します。

ステップ4 Enter を押します。

## Cisco HX データ プラットフォーム インストーラの導入

次に、HX Data Platform ソフトウェアをインストールします。



(注) Cisco HX Data Platform インストーラ を起動する前に、ストレージクラスタに含める予定の vCenter クラスタにあるすべての ESXi サーバがメンテナンスモードであることを確認します。

ステップ1 ブラウザに、HX Data Platform インストーラ がインストールされる VM の URL を入力します。

このアドレスは、前述の項「Deploying HX Data Platform インストーラの展開」から入手します。例：  
*http://10.64.4.254*

**ステップ2** 次のクレデンシャルを入力します。

- ユーザ名 : *root*
- パスワード (デフォルト) : *Cisco123*

**注目** システムは、デフォルトのパスワード [*Cisco123*] で出荷されますので、インストール中にこれを変更する必要があります。新しいユーザがパスワードを指定していない限り、インストールを続行できません。

EULA を読みます。[I accept the terms and conditions] をクリックします。

右下隅に記載された製品バージョンが正しいことを確認します。[Login] をクリックします。

**ステップ3** この HX Data Platform インストーラ ワークフローページには、ワークフローのオプションが 2 つ表示されます。

- **[クラスタの作成]** ドロップダウンリスト—標準のクラスタ、ストレッチクラスタ、または Hyper-V クラスタを展開できます。
- **クラスタ展開** —データを提供して、既存の標準的なストレージクラスタにコンバージドノードやコンピューティングノードを追加できます。

## HX Data Platform REST API へのアクセス

Cisco HyperFlex HX-Series System は、コンピューティング、ストレージ、ネットワークの 3 つのレイヤすべてを強力な Cisco HX Data Platform のソフトウェア ツールと組み合わせた完全内包仮想サーバプラットフォームで、シングルポイントの接続性が得られ、シンプルな管理を実現できます。Cisco HyperFlex システムは、単一の UCS 管理ドメインに HX ノードを追加することによってスケールアウトするように設計されたモジュラシステムです。このハイパーコンバージドシステムでは、ワークロードのニーズに基づいて、統合されたリソースのプールが提供されます。

HTTP 動詞を使用した Cisco HyperFlex システム RESTful API は、HTTP 呼び出しを実行するように構成できる他のサードパーティ製の管理および監視ツールと統合されています。また、オンデマンドステートレスプロトコルを介した HyperFlex システムの認証、レプリケーション、暗号化、モニタリング、および管理を可能にします。この API を使用すれば、外部アプリケーションを HyperFlex の管理プレーンと直接インターフェイスさせることができます。

これらのリソースには URI (Uniform Resource Identifier) を介してアクセスし、これらのリソースに対する操作は POST (作成)、GET (読み取り)、PUT (更新)、DELETE (削除) などの HTTP 動詞を使用して実行します。

REST API は、Python、JAVA、SCALA、Javascript などのさまざまな言語でクライアントライブラリを生成することも可能な Swagger を使用して記述されます。このように生成したライブラリを使用して、HyperFlex リソースを使用するためのプログラムとスクリプトを作成できます。

HyperFlex は、組み込み REST API アクセス ツールである REST エクスプローラも備えています。このツールは、リアルタイムで HyperFlex リソースにアクセスし、応答を監視するために使用します。REST エクスプローラは、コマンドラインから実行可能な CURL コマンドも生成します。

**ステップ 1** ブラウザを開いて、<https://developer.cisco.com/docs/ucs-dev-center-hyperflex/> DevNet アドレスにアクセスします。

**ステップ 2** [Login] をクリックし、必要に応じてクレデンシャルを入力します。

## Cisco HX Data Platform プラグインへのアクセス

vSphere Web Clientを介してHX Data Platform Plug-inにアクセスします。



- (注)
- HX Data Platform Plug-inは、英語以外の vCenter（日本語、韓国語、および簡体字中国語）で機能します。
  - Firefox ブラウザを使用している場合は、最新の Adobe Flash Player がインストールされていることを確認してください。
  - HX Data Platform Plug-inは、vSphere シック クライアントとも呼ばれる vSphere クライアント for Windows 経由では入手できません。HX Data Platform Plug-inのアクティビティについて生成されたイベントメッセージは、vSphere クライアント表示に含まれています。HX Data Platform Plug-inタスクは、Windows用のvSphereクライアントで実行することはできません。
  - 読み取り専用の権限を持つユーザは、設定関連のタスクを実行できません。状態の情報の表示のみが可能です。

**ステップ 1** vSphere Web クライアントから、vCenter パネル上部にある [Home] アイコン（家）をクリックします。

**ステップ 2** ナビゲータの [Home] ページで [vCenter Inventory Lists] を選択します。

**ステップ 3** vCenter インベントリ リストの下部までスクロールして、HX Data Platform プラグインにアクセスします。

**ステップ 4** [Cisco HyperFlex Systems] を展開し、[Cisco HX Data Platform] をクリックして HX Data Platform Plug-in内で使用可能な HX ストレージクラスタを表示します。

Cisco HXDP オブジェクトが HX ストレージクラスタの数の一覧であることに注意してください。

[Objects] タブでは次の操作を実行できます。

- ストレージクラスタ名を編集します。[edit] アイコン（鉛筆）をクリックするか、[Actions] メニューから [Rename Cluster] を選択します。

- ストレージクラスタ設定を表示します。[summary]アイコン（緑色の紙）をクリックするか、[Actions]メニューから [Summary] を選択します。

**ステップ 5** [Navigator] ペインのリストから、[HX ストレージクラスタ] を選択します。

Cisco HX Data Platformの下にストレージクラスタのリストがあります。このリストからストレージクラスタを1つ選択します。

**ステップ 6** [センター (center)] ペイン内のタブをクリックして、HX Data Platform Plug-inの情報とさまざまなアクションにアクセスします。

タブオプション	説明
使用する前に	概要の情報について読み、基本的なアクションにアクセスします。
Summary	HX Data Platform ストレージオブジェクトの基本ステータスと設定をモニタします。
Monitor	HX ストレージクラスタ、ホスト、およびデータストアのパフォーマンスとイベントをモニタします。
Manage	HX ストレージクラスタの詳細をモニタし、データストアの作成と管理、および情報のコピーとエクスポートを行います。

## Cisco TAC への連絡

問題解決時間を短縮するために Cisco Technical Assistance Center (TAC) のケースをオープンして、Cisco PRIME コラボレーションアプリケーションから直接効率的なサポートを受けることができます。

シスコ サービス契約が有効なお客様、パートナー、リセラー、ディストリビュータは、Cisco Technical Support で受賞歴のあるテクニカル サポート サービスを 24 時間体制で受けることができます。Cisco Technical Support Web サイトでは、シスコ製品やシスコ テクノロジーに関する技術的な問題を解決するためのオンラインのドキュメントやツールをご利用いただけます。

<http://www.cisco.com/techsupport>

TAC Support Case Manager オンライン ツールを利用することで、最も素早く S3 および S4 のサポート ケースを開くことができます (S3 および S4 サポート ケースは、最小限のネットワーク障害の問題と製品情報リクエストから構成されます)。状況をご説明いただくと、TAC Support Case Manager が自動的に推奨する解決方法を提供します。推奨リソースを使っても問題を解決することができなかった場合、TAC Support Case Manager がお客様のサポート ケースを Cisco TAC のエンジニアに割り当てます。以下の場所から、TAC Support Case Manager にアクセスできます。

<https://mycase.cloudapps.cisco.com/case>

S1 または S2 のサポート ケースに関して、またはインターネット アクセスがない場合は、電話で Cisco TAC にご連絡ください (S1 または S2 サポート ケースは、著しいパフォーマンスの低下または停止などの製品のネットワークの問題から構成されています)。お客様の業務を円滑に続行できるように、S1 および S2 のサポート ケースは、迅速に Cisco TAC エンジニアに割り当てられます。

電話でサポート ケースを開く場合は、次のいずれかの電話番号をご利用ください。

- アジア太平洋地区 : +61 2 8446 7411
- オーストラリア : 1 800 805 227
- EMEA : +32 2 704 55 5555
- USA: 1 800 5532447

企業およびサービス プロバイダー製品に関する Cisco TAC の連絡先の一覧については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-worldwide-contacts.html> を参照してください。

Cisco Small Business Support Center (SBSC) の連絡先の一覧については、<http://www.cisco.com/c/en/us/support/web/tsd-cisco-small-business-support-center-contacts.html> を参照してください。